

インドネシア・ジャカルタ首都圏におけるTODプロジェクト

- ジャカルタ都市高速鉄道（MRTJ社）が計画するDukuh Atas地区TOD開発やBlok M駅周辺の州有地約1.3haのTOD開発
- MRTJ社及びジャカルタ首都圏交通統合公社（MITJ社）へのTOD支援と日本企業の意向把握を通じ、日本企業の事業参画に向けた活動を実施中

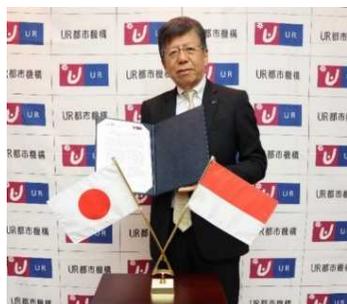
概要

- 2023年7月に、URIはMRTを建設・運営しているMRTJ社とTODプロジェクトについての協力覚書を交換。
- 2024年4月に、URIはMRTJ社とDukuh Atas駅周辺の歩行者デッキ整備に係るミニッツを交換し、事業化支援を実施中
- MRT南北線Blok M駅前のバスターミナルを含む街区（約1.3ha）のTODプロジェクトについて、日本企業参画促進等、事業化支援を実施中
- 2024年1月に、URIはMITJ社とTODプロジェクトについての協力覚書を更新（2年間）。



Dukuh Atas地区歩行者デッキイメージパース

活動状況



2023年7月 MRTJ社との覚書交換の様子



2024年1月 MITJ社との覚書更新の様子



Blok M駅周辺地区イメージパース

※パース図は、MRTJ社作成であり、今後変更の可能性があります